

「歴代宝案」データベースの作成

赤嶺 守：琉球大学・法文学部

「歴代宝案」(以下「宝案」と略す)は1424年から1867年までの琉球王国が発送または受領した外交文書(1集<49冊巻>、2集<200巻>、3集<13巻>、別集<4巻>、目録<4巻>の計270巻)を集成したもので、琉球の対外関係史を解明するうえで第一級の同時代史料である。特に第1集は進貢・冊封体制下での宗主国中国を中心に朝鮮さらにシヤム(暹羅)・ベトナム(安南)・マラッカ(満刺加)・パタニ(仏太泥)・ジャワ(爪哇)・スマトラ(蘇門答刺)・パレンバン(三仏齊)・スン(巡達)といった東南アジアにまで及び、この「宝案」史料を利用して小葉田淳著『中世南島通交貿易史の研究』、伊藤忠太・鎌倉芳太郎著『南海古陶瓷』、秋山謙蔵著『日支交渉史研究』、東恩納寛惇著『黎明期の海外交渉史』、安里延著『日本南方発展史』といった多くの研究成果が刊行されている。

「宝案」は久米村の天妃宮に保管されていた原文書の写しである「旧案」とよばれる文書を編集したもので、王国時代に「宝案」は2部作成され首里王府と天妃宮の2ヶ所に保管されていた。後に王府本は明治の琉球処分期に没収され東京移管となり、久米村本は県立図書館で保管されたが、その原本をとともに大震災と沖縄戦によって失っている。だが幸いなことに、久米村本は副本(県立図書館本)の他に、戦前、鎌倉芳太郎や東恩納寛惇らが撮った影印本(青写真)や、台北帝国大学(現台湾大学)や東大史料編纂所、東恩納寛惇等によって筆写された写本が残っており、現在沖縄県ではこうした現存する影印本や写本を校合して校訂本を刊行する編集事業を進めている。本研究ではその編集過程で作成されたオアシスで入力した全文テキストをパソコンにコンバートして利用させていただいた。

さて、「宝案」の構成についてであるが、第1集は永楽22(1424)年8月から康熙36(1697)年5月までの270余年間の文書を収録し、以下のような巻構成となっている。

巻1~3(詔勅) 巻4~7(礼部咨文) 巻8~11(福建布政使司等咨) 巻12~15(表奏)
巻16~22(国王咨) 巻23~27(符文) 巻28~35(執照) 巻36(弘光文稿) 巻37(降武文稿)
巻38(魯王文稿) 巻39(彝回咨) 巻40~41(移彝者) 巻42(移彝 執照)
巻43(山南王伊懷機文稿) 巻44~49(琉球録)

第2集(康熙36年9月~咸豊8<1858>年8月、巻数は200巻)は1集と異なり、文書の種類、発送者、受領者をもとに収録する配列形式をとらず、1~2年を1巻とする巻構成をおこなっており、詔勅、礼部・福建布政使司の咨文、琉球国王の表奏・咨文、符文、執照といった順に収録する編集をおこなっている。2集には他に記載はほぼ同一であるが「上」・「下」(康熙36~咸豊8<1858>年、200巻)、「乾」・「坤」(康熙36~嘉慶24<1819>年、125巻)の計4冊の2種の目録がある。

第3集(咸豊9(1859)年6月~同治6(1867)年、13巻)もほぼ2集同様、詔勅、礼部の咨、福

建布政使の咨、国王の表奏等を配列する巻構成をとっている。

別集は「冠船之時唐人持来品貨物録」、「咨集 文組方」、「4J4I 情状」、「4J4I 唾三国情状」の4冊で構成されている。「冠船之時唐人持来品貨物録」は康熙58年渡来の冠船（冊封正使・海宝、副使徐葆光）の積載品目録で、「咨集 文組方」は乾隆38～49年の琉球国王宛の咨文集、「4J4I 情状」は道光24～7年間の英・仏船渡来に関する措置をめぐる琉球と福建布政使司等との往復文書、「4J4I 唾三国情状」は道光26～咸豊5年間の英・仏・米等異国船渡来に関する福建布政使司等との往復文書である。

「宝案」の分量としてあげられる数値は、上述したように1集49巻、2集200巻、目録4巻、3集13巻、別集4巻の計270巻冊であるが、実際に現存が確認されているのは1集42巻（38,44,45,46,47,48,49は欠巻）2集187巻（81,103,114,126,127,129,130,131,132,137,138,176,198は欠巻）目録4巻（欠巻なし）3集13巻（欠巻なし）別集4巻（欠巻なし）の計250巻である。本研究では「歴代宝案」データベースの作成にあたって、項目は以下の「集」「巻」「番号」「冊」「表題」「年代」「西暦」「王代」「種類」「発信者」「受信者」「台湾」「鎌倉」「東恩」「県立」「横山」「東大」「鄭」「国会」を設定した。

「集」:「1集」「2集」「3集」「別集」の区別を示す。

「冊」:「宝案」の全文テキストは現存巻数の最も多い1972年に台湾大学が復刻刊行した台湾大学本（全15冊）を底本に作成されている。「冊」はその冊名。

「巻」:文書の巻名

「番号」:文書一件ごとに文書番号を付した。「番号」はその「巻」の文書番号。第2集は「上」・「下」の目録があり、文書番号はそれに準じたが、目録のない第1集・第3集・別冊は底本に準じて文書番号を示した。

「表題」:表文、奏文、符文、執照の場合はほとんどが一件の文書であるが、咨文の場合には何件か案件が含まれていることもある。「表題」は文書一件または何件かの案件を含む全体の内容のタイトル。

「年代」:文書作成の年月日（中国暦）

「西暦」:作成年代の西洋暦。西洋暦の項目は、文書の年代順検索をする際の便宜上の設定で年代のみを設定した。

「月」:中国暦の月

「日」:中国暦の日

「王代」:王代は原則的に王名を記す。冊封を受けず即位してない場合は世子某、世孫某といった具合に示した。

「種類」:「詔勅」「表文」「奏文」「咨文」「符文」「執照」といった文書の類別。

「発信者」:文書の発送者。

「受信者」:文書の受信者。

「台湾」:「台湾大学本」計249巻。台湾大学本は1935（昭和10）年台北帝国大学の小葉田淳助教授（現京大名誉教授）が沖縄を訪れ、久場政盛氏に筆写を依頼して作成させた旧台北帝国大学蔵本で、現在は台湾大学研究図書館に所蔵されている。

- 「鎌倉」:「鎌倉本」計57巻。鎌倉本は鎌倉芳太郎氏の蔵本(影印本)で現在は沖縄県立芸術大学附属図書館蔵となっている。
- 「東恩」:「東恩納本」41巻。東恩納本は東恩納寛惇氏の蔵本(影印本、筆写本)で、現在は沖縄県立図書館が所蔵している。
- 「県立」:「県立図書館本」計97巻。旧沖縄県立図書館蔵原本の副本(写本)、現存する県立図書館本は1933(昭和8)年に久米村の天妃宮に保管されていた『宝案』が県立図書館に移管される際、原本は厳重に保管し別に写本を作成して一般研究者に閲覧させるといった付帯条件に基づいて作成されたもの。戦後米軍によって羽地村源河から発見。
- 「横山」:「横山本」計13巻。古典籍の収集家で知られた横山重の蔵書(筆写本)。
- 「東大」:「東京大学史料編纂所本」計38巻。1941(昭和16)年に東京大学史料編纂所が沖縄県立図書館に依頼して筆写させたもの。
- 「鄭」:「鄭良弼本」計20巻。鄭良弼(1789~1861)は久米系統で長史司から総理唐栄司にまでなった人物で、鄭良弼本(筆写本)の成立年時ははっきりしないが、筆写は嘉慶19(1814)年以後咸豊元(1851)年以前になされたであろうと推定されている。
- 「国会」:「国立国会図書館本」計25巻。鄭良弼本と同様に県立図書館移管後に筆写された諸写本とは別種の古写本。

註:「台湾」「鎌倉」「東恩」「県立」「横山」「東大」「鄭」「国会」の項目では存在する文書を○で示し、全文テキストとして入力された文書は△で示した。第2集の文書番号は「宝案」目録「上」「下」に準じて配列した。

[歴代宝案データベース]

集	冊	巻	番号	表 題	年 代	西 曆	日	王代
1	2	13	174	.1 道光二十年の進貢使臣派遣を嘉尚する勅諭	道光二十一年閏三月二十六日	1841	3 26	尚育
2	2	13	174	2 道光二十年の進貢使臣・官生等の北京到着に付、通知の件 (進貢・官生)	道光二十一年閏三月 日	1841	3	尚育
3	2	13	174	3 北京到着の進貢使臣・官生等の接待の件 (進貢)	道光二十〇〇年閏三月八日		3 8	尚育
4	2	13	174	4 例貢の方物及び官生随貢の方物の受領の件 (例貢方物)	道光二十一年閏三月十八日	1841	3 18	尚育
5	2	13	174	5 道光二十年の進貢使臣等への例賞並びに招宴の件 (頒賞)	道光二十一年閏三月二十六日	1841	3 26	尚育
6	2	13	174	6 例賞品の頒給及び勅書頒賜の時期通達の件 (頒賞)	道光二十一年閏三月二十六日	1841	3 26	尚育
7	2	13	174	7 官生等に日用品支給の件 (官生)	道光二十一年閏三月二十七日	1841	3 27	尚育
8	2	13	174	8 進貢使臣の孔子廟参観の件 (文廟)	道光二十一年閏三月二十九日	1841	3 29	尚育
9	2	13	174	9 進貢使臣の北京出発の期日及び福州への水路利用の件 (進貢)	道光二十一年閏三月三十日	1841	3 30	尚育
10	2	13	174	10 進貢使臣等への格別の賞賚の件 (頒賞)	道光二十一年 四月四日	1841	4 4	尚育

	種類	発信者	受信者	台湾大学 学写本	鎌倉 影印本	東恩納 影印本	東恩納 写本	県立図書館 写本	横山重 写本	東大史料 編纂所写本	鄭	国会図 書館本
1	勅諭	皇帝	琉球國中山王尚育	○				○				
2	咨文	禮部	琉球國王	○				○				
3	咨文	禮部	琉球國王	○				○				
4	咨文	禮部	琉球國王	○				○				
5	咨文	禮部	琉球國王	○				○				
6	咨文	禮部	琉球國王	○				○				
7	咨文	禮部	琉球國王	○				○				
8	咨文	禮部	琉球國王	○				○				
9	咨文	禮部	琉球國王	○				○				
10	咨文	禮部	琉球國王	○				○				